

こんにちは!

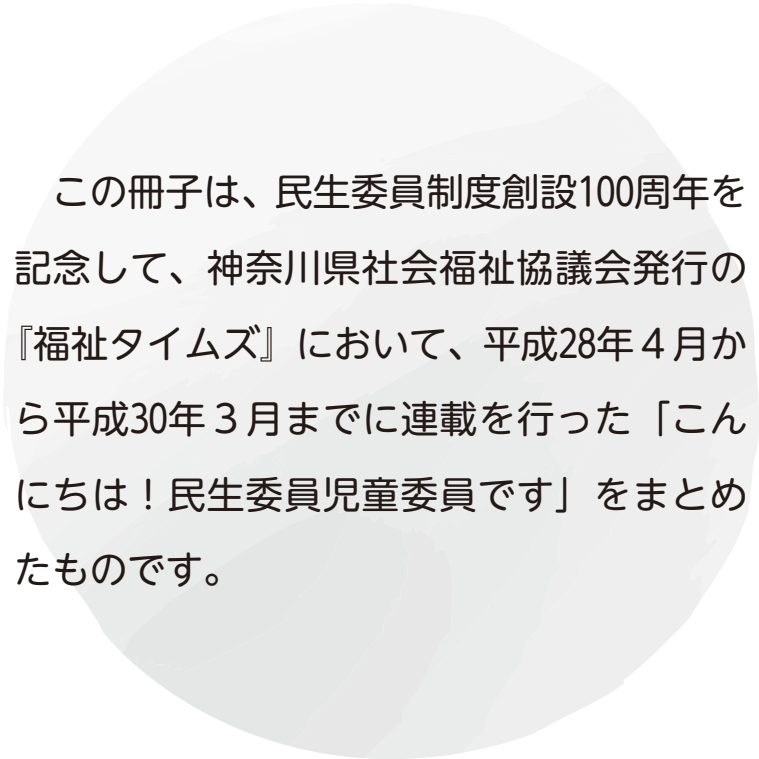
民生委員児童委員です



平成30年7月

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

民生委員児童委員部会



この冊子は、民生委員制度創設100周年を記念して、神奈川県社会福祉協議会発行の『福祉タイムズ』において、平成28年4月から平成30年3月までに連載を行った「こんにちは！民生委員児童委員です」をまとめたものです。

# 目次

## はじめに

I 民生委員児童委員って!?	1
II 活動事例	
1. 子どもの見守りを通して、地域の実情を知る（綾瀬市綾北地区民児協）	4
2. 「いたわり」と「思いやり」の心を以て（川崎市中原区小杉第2地区民児協）	5
3. われらのマイタウン（故郷）で至福の福祉活動（横浜市保土ヶ谷区西谷地区民児協）	6
4. 麻溝地区高齢者かわら版への寄稿から（相模原市南区麻溝地区民児協）	7
5. 8年間見守り続けた高齢者とのかかわりとおして（藤沢市明治地区民児協）	8
6. 委員活動の喜び（川崎市川崎区小田地区民児協）	9
7. わが町堀睦 絆でつなぐ福祉活動（横浜市南区堀ノ内・睦地区民児協）	10
8. 「茹でピー」で仲間づくり おしゃべりサロン「えんがわ」 （相模原市中央区田名地区民児協）	11
9. 地域を歩き、地域を深く知ることが大切（小田原市幸地区民児協）	12
10. 民生委員児童委員活動をできる幸せを感じながら（川崎市幸区南河原地区民児協）	13
11. みんなでめざそう「ふれあい ささえあいのまち」 （横浜市港南区日野第一地区民児協）	14
12. 仕事とは…人を楽にすること「傍楽」（はたらく）なり（相模原市緑区橋本地区民児協）	15
13. 委員としてできること「寄り添い」そして「つなぐ」～民生委員活動を振り返って～ （開成町民児協）	16
14. 地域で楽しむ落語・音楽カフェをめざして（川崎市高津区橘第3地区民児協）	17
15. 地区民児協出前講座（横浜市都筑区民児協）	18
16. 広がる地域の輪 民生委員児童委員活動で“地域力UP！” （相模原市南区東林地区民児協）	19
17. 平塚市花水地区民児協の「子育てサロン」（平塚市花水地区民児協）	20
18. 地域住民への自助・互助の周知と居場所づくりを目指して （川崎市宮前区宮前第4地区民児協）	21
19. 支え合いの心で活力ある地域づくり（横浜市鶴見区市場地区民児協）	22
20. 歴史と伝統の町 上溝地区の取り組み（相模原市中央区上溝地区民児協）	23
21. 手作りの福祉を（横須賀市北下浦地区民児協）	24
22. 「高齢者のハロウィン」から学んだこと（川崎市多摩区生田第2地区民児協）	25
III まとめ	26

## はじめに

現在の民生委員制度へと続く濟世顧問制度が大正6（1917）年に岡山県で創設され、平成29（2017）年で100周年という大きな節目を迎えました。100年という長い年月は流れましたが、地域や制度の狭間で孤立している住民の身近な相談役として活動している民生委員児童委員の基本的な役割は今も変わりありません。

たとえば、日常的な見守りが必要な高齢者の情報を把握すれば、集いのちらしを渡す際にその方に変わりはないかと声をかけたり、子育てサロン活動のスタッフとして関わりながら、その親子の表情がいつもと違わないかと気にかけてりします。このように、民生委員児童委員は地域の人々の暮らしに寄り添い、住民の立場に立って活動しています。

神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市民生委員児童委員協議会を構成委員とする本会民生委員児童委員部会では、この100周年を大きな機会ととらえ、「民生委員児童委員の声」を広く発信することにしました。

地域福祉推進に関わる関係機関・団体の皆さんが、具体的な民生委員児童委員像を描くきっかけとなり、民生委員児童委員にとっても、改めて自身の役割を再確認する機会になればと企画しました。

民生委員児童委員活動を通し、何を感じ、考え、学び、地域の課題をどのようにとらえ、関係機関・団体につなげたか等、「民生委員児童委員活動から見た、わたしの地域」という視点を織り交ぜながらご寄稿いただきました。

今回、ご寄稿いただきました民生委員児童委員の皆さまに改めてお礼を申し上げますとともに、この冊子をお読みいただいた皆様の今後の活動の資となれば幸いに存じます。

# I 民生委員児童委員って!?

民生委員児童委員は…

## 「地域を見守る身近な支援者です！」

### ■どんな人が民生委員児童委員に…

- お住まいの地域で活動することができる人
- 地域福祉の増進のために活動する熱意を持つ人
- 相談者の立場に立って同じ目線で寄り添う気持ちを大切にできる人
- 無理のない範囲で委員活動のための時間を割ける人
- 守秘義務を守ることができる人

### ■やりがいがある！

- たくさんの体験や経験から、人として成長できたり、充実感を得られます。
- 多くの学ぶ機会があり、知識の幅が広がります。
- 地域で年代の違う人たちとの様々な交流の機会があります。
- 活動の内容が地域福祉に活かされています。
- 専門機関と一緒に、相談者の立場に立って悩みを軽くするお手伝いができます。

## ■民生委員児童委員の役割は？

- 子育ての悩みや親の介護など、生活上のさまざまな相談にのります。
- 相談者と専門機関のパイプ役になります。
  - ・専門機関が分からない相談者には、必要な情報提供をします。
  - ・地域で困っている人を発見したら、専門機関に情報提供します。
- 住民の見守りをとおして、違和感があったときには気配りをします。
  - ・高齢者が一人で生活していることが分かったら、声かけをします。
  - ・子どもの泣き声がよく聞こえてきたら、専門機関に相談します。
- より住み良い地域にするために住民の立場に立った意見を提言します。

\*すべての民生委員は、児童委員を兼ねており、「民生委員法」「児童福祉法」に基づきます。

\*民生委員児童委員の中には担当地区を持たず、主に児童福祉に関わる活動を任せられている「主任児童委員」がいます。

\*身分は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。

\*民生委員児童委員の活動費は、国や地方公共団体の財源により、必要な実費の一部に充てられます。謝礼はありません。

\*民生委員児童委員は、法律により「守秘義務」が定められています。

\*全国に約23万人、神奈川県内には、約1万1千人います。

# ある民生委員児童委員の1ヶ月

## 個別支援

- ・一人暮らしの高齢者宅をちょっと訪問した。元気してるかな？
- ・行政の福祉サービスを使いたいという相談があった。明日、市役所の担当者に問い合わせてみた。
- ・児童相談所から見守りを依頼されている親子を訪問。母親の気持ちをじっくり傾聴した。
- ・外出からの帰りに、先日訪問した一人暮らし高齢者宅に立ち寄った。



## 会議、研修

- ・市町村の民児協定例会では連絡事項・県の行事への出席者を決める・市の福祉行事の役割決めなどを行った。
- ・地区民児協定例会で連絡事項の他、住民から受けた相談への対応方法について意見交換をした。
- ・学校や地域関係機関などと防災・防犯活動の打合せをした。



## 地域の活動

- ・地区の自治会定例会に参加した。福祉関係の行事について説明した。
- ・子どもたちの登下校時に防犯パトロールの協力をした。
- ・福祉まつりの打ち合わせに参加した。



## 個別支援

- ・生活が困窮している母子家庭の世帯を訪問した。社会福祉協議会に相談に行った。
- ・障がいのある子どもの学校への送り迎えの相談があった。地域のボランティアにどうつなげようか。地区民児協会長に報告し、相談した。



## 会議、研修

- ・県民児協主催の研修会に出席した。他市町村の民生委員児童委員と情報交換して、自分の地域の事が一層わかってきた。



## 地域の活動

- ・主任児童委員と一緒に、子育てサロンに参加した。若いお母さんたちと一緒に過ごした。
- ・市から依頼されて一人暮らし高齢者の実態調査のために地域の対象者を訪問した。
- ・福祉まつり当日は民児協活動をPRした。



民児協とは民生委員児童委員協議会の略称で、県、市区町村、地区にあります。

こんにちは!

民生委員児童委員です



子どもの見守りを通して、  
地域の実情を知る

私の日常の活動と言えば毎日の児童の下校見守りです。寒い日、暑い日、雨降りでも時間の許すかぎり「見守り隊」として路地に立って、続けること10年有余が経過しました。

これは、地区民生委員児童委員協議会が共に活動する、地区社協の「児童見守り・安全部会」での活動です。中学生には「こんにちは」、小学生には「さようなら」と言葉をかけながら、毎日「ジャンケン」や「工作物の出来栄」「宿題」など話題はつきません。こうして、顔と顔のつながりを築き上げています。

また、私が担当する小学校では「見守り隊ありがとう」という行事が催され、学校代表として3年生が作成した感謝状を毎年1回いただいています。さらに、3月は小・中学校の卒業式に招待を受け出席します。特に今年は、主任児童委員から見守りを依頼された、当時小学校3年生だった男の子が、元気に中学校を卒業したことを見届けることができ、ホッとしています。

こうした下校時の見守りを通して、民生委員児童委員活動の原点である、地域の実情把握をすることができます。下校時の児童だけではなく、幼稚園児のお迎え時の母親、散歩をしている人、リハビリのため歩いている



日常の安否確認を目的に、まずはお互いが顔見知りになることが大切という考えから、75歳以上の住民を対象に「ふれあいの集い」を実施しています。この集いで顔が見える関係が築け、災害時の支援に活かされています。

今井 和治 (民生委員児童委員)

綾瀬市綾北地区  
民生委員児童委員協議会



人、買い物の行き帰りの人、ご近所の方、地域で気軽に歓談や趣味の活動などができるよう設けている「憩いの家」の利用者等々、毎日すれ違った人々と「ご苦労様」「ありがとう」そして、「元気ですか」のあいさつから交流ができ、会話が弾みます。会話の端々に「最近あの人見かけないので見に行ってください」「あの方は元気になった」または、「病気になった」「施設に入った」等々、わざわざ地域の様子をパトロールしなくても、小さな情報ではありますが、かなり信ぴょう性が高い情報が、私のところに入ってきます。

私は、地域の住民との日常会話から、民生委員児童委員活動をしています。



地域の子どもと子育て家庭を  
見守る児童委員

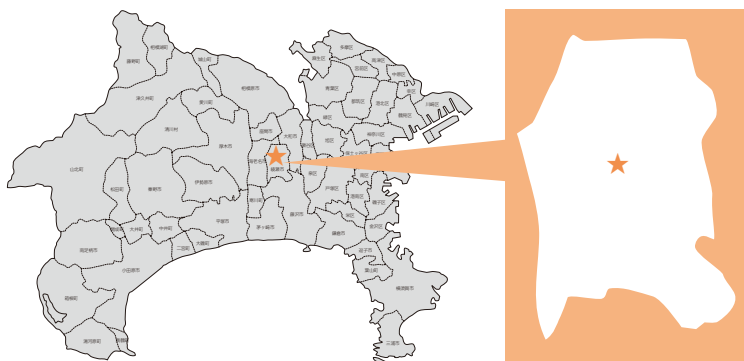
民生委員は、地域の子どもが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・援助等を行う「児童委員」も兼ねています。子どもの見守りの他にも、「子育てサロン」を運営し、子育て中の親が一人で悩みを抱え込まないような仲間づくりの場をつくったり、そのサロンに参加した親子の様子がいつもと変わりはないかと気に留めたり、さらに、必要があれば相談に乗り、適した関係機関・団体を紹介します。

このように、民生委員児童委員は、担当する地域で生活する人々に向け、活動しています。

(神奈川県民生委員児童委員協議会)

地区の概況

綾瀬市綾北地区



人口	12,345人
世帯数	5,449世帯
高齢者 (65歳以上)	3,199人/25.9%
子ども (15歳未満)	1,482人/12.0%
民生委員児童委員	18人
主任児童委員	2人

H30.6.1現在



# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



「いたわり」と  
「思いやり」の心も以て

富岡 茂太郎(民生委員児童委員)  
川崎市中原区  
小杉第2地区民生委員児童委員協議会



大正6(1917)年に濟世顧問制度が創設されて以来、平成29(2017)年には100周年を迎えます。先人が築き上げてきた偉業を汚すことなく継承して参る所存です。川崎市民生委員児童委員協議会では、100周年の節目に広報を兼ねて盛大な記念事業を企画いたしました。

1. ミューザ川崎にて記念式典・平成29年5月23日
2. 10年間まとめの記念誌の作成(90周年~100周年)
3. 記念品、切手(各区の活動の写真を刷り込んだ物)
4. 映画製作(市民児協での活動・各区の特徴的な活動)

記念式典で30分の上映。以後各民児協に配付、広報に使ってもらう。(DVD150枚製作)

民生委員児童委員(以下「民生委員」)の活動では、日々研鑽で「信頼される隣の人」となることが求められています。そんな中、「民生委員の仕事はどんなことをやっているだろう?」また、「どこで、だれが何をしているんだろう?」との声が聞かれました。民児協の研修や勉強会で知り得た情報を少しでも知っていただくため、また活動を理解してもらうために、平成14(2002)年から担当エリアの町会、自治会を対象とした広報誌『心』を発行し、民生委員を通して各町会、自治会へ年3回、回覧をお願いしています。

神奈川新聞より、市議会健康福祉委員会での「川崎市民生委員児童委員あり方検討委員会報告会」を紙面で取り上げるにあたり、前もって民生委員の活動について知りたいとの事で取材を受け、翌々日の新聞に大々的に委員会報告と共に民生委員活動の様子が掲載されました。

日本医師会発行の医学生向け情報誌『ドクターゼ』より、民生委員の活動に関して、これから医師になる医学生に知っておいてほしいことなどについてお話を聞きたいと取材がありました。

住民の悩みごとが改善されたり感謝の言葉を頂いたり、「あなたのおかげで安心して暮らせます」と感謝されると本当にうれしく、やりがいを感じます。精神的にも崇高な制度ボランティアと感ずる次第です。

## <民生委員児童委員活動のPR>

民生委員児童委員の活動とやりがいを知ってもらうため、それぞれの地区民児協等において広報に努力していますが、民生委員制度創設100周年の節目に地域住民や町内会等に理解と協力を促進するとともに、活動PR用のDVD作製を進めています。

(川崎市民生委員児童委員協議会)



小杉第2地区民児協の広報誌『心』は、年3回発刊、1回あたり900部印刷しています



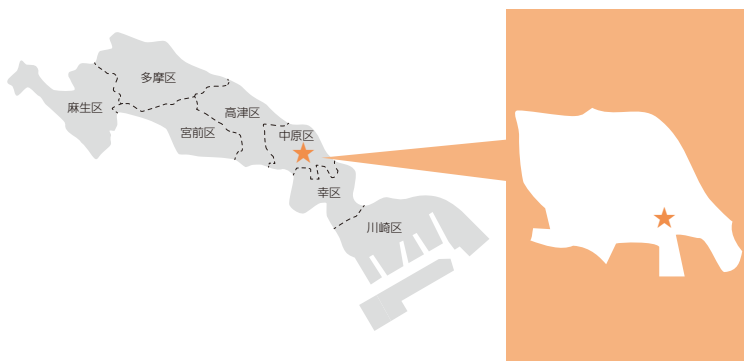
高津区民祭でのパレード。川崎市7区民生委員児童委員、総勢157人が猛暑の中行進しました



なかはら子ども未来フェスタの催しに併せて、児童虐待防止啓発活動を実施しました

## 地区の概況

### 川崎市中原区小杉第2地区



人口	27,356人
世帯数	13,299世帯
高齢者 (65歳以上)	3,796人/13.9%
子ども (15歳未満)	4,189人/15.3%
民生委員児童委員	29人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在

# こんにちは！ 民生委員児童委員です



## われらのマイタウン (故郷) で至福の福祉活動

江渕 武雄 (民生委員児童委員)  
横浜市保土ヶ谷区  
西谷地区民生委員児童委員協議会



西谷地区は、横浜市の中心部にあたる保土ヶ谷区北部に位置しています。人口は約6,900名、高齢化率は22%程度で、子育て支援や保育所が充実しており、他の地域に比べ保育ニーズに応えられている状況です。

都市部にありながら田園の風景が楽しめ、さらに有名な西谷ネギ、じゃがいもを食しながら私たち西谷地区民生委員児童委員協議会(以下、民児協)は活動しています。

民児協は8自治町内会選出の14名。おのおの異なるキャラクターの特色を生かして、楽しく、わいわいがやがや、思いやりのある環境で活動しています。民生委員の歌『花咲く郷土』にある「伸ばす愛の手この使命、すすむ再起のこの門出、想え花咲くこの郷土」を地でいく集団です。

日中は高齢者と子どもたちが元気よく暮らしている、私たちのマイタウン(故郷)そのものです。しかし、ときどき高齢者の孤立死や認知症の方の徘徊などの事例が発生します。民生委員が福祉課題を制度に繋げる支援者側は地域ケアプラザ(地域包括支援センター)、区社会福祉協議会、行政等があり、その連携・コミュニケーションはかなり充実しています。

あんしん訪問(継続的な見守り活動)、地域福祉活動な

どの他、月1回の定例会での情報共有を最も大切にしていきます。民児協のメンバーは、商店街などでの買い物時においても、見守り支えあい活動を展開しており、情報の迅速さを武器に、福祉制度の支援者側につないでいます。

それでも、最近はいろいろな制度が新たにでき、その理解や課題解決が難しいことも増えてきています。最近、最も悩むことは、制度の狭間の事例への対応の仕方です。民児協として、担当委員が抱え込むことのないよう、関係機関との迅速な連携が必須となってきています。

福祉の根源によると、人は人によって助けられ、それによって生きがい生まれるもの。ひとえにクライアントだけの享受だけではなく、そのなかに参画した民生委員の人生への満足感、充実感をじっくりと至福できるように楽しんでいきたいものです。

### <ともに支え合う民生委員児童委員協議会>

民児協は個々の委員活動を支える役割を担っており、毎月の定例会では情報共有や困難事例の検討等が行われています。担当民生委員が1人で抱え込むことのないよう、互いに協力し合って活動しています。

(横浜市民生委員児童委員協議会)



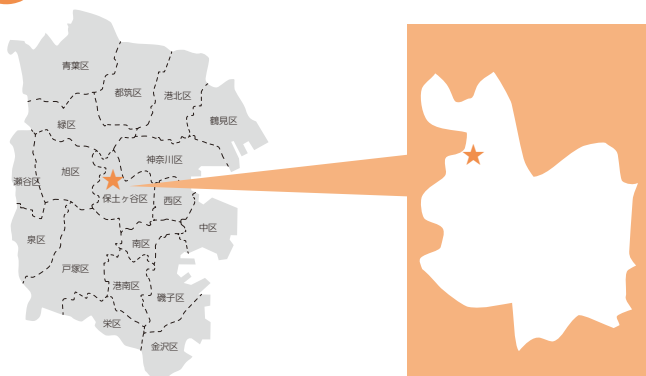
高齢者給食会での誕生日プレゼント(多世代交流)



伊勢原市比々多地区民児協との交流・学習会

## 地区の概況

横浜市保土ヶ谷区西谷地区



人口 7,003人

世帯数 3,569世帯

高齢者 (65歳以上) 1,623人/23.2%

子ども (15歳未満) 706人/10.0%

民生委員児童委員 10人

主任児童委員 2人

H29.9.29現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 麻溝地区 高齢者かわら版への寄稿から

高橋 功 (民生委員児童委員)  
相模原市南区  
麻溝地区民生委員児童委員協議会



相模原市南区の麻溝地区民生委員児童委員協議会（以下「民児協」）では、麻溝地区高齢者支援センターが年4回発行する『麻溝地区高齢者かわら版』に、自治会、地区社協、老人クラブとともに情報を掲載しています。民児協では民生委員の存在を身近に感じてほしいと、次のようなコラム風の読みものでPRしています。

### その1 「セーノ」の力 (平成27年3月発行)

8月31日夕方7時のニュースで広島県災害現場の映像の中で、土砂で動けなくなった車を7人から8人の男性が「セーノ」の掛け声のもと、押し出そうとしている場面を見てハッと気がついた。

「セーノ」という掛け声は、北は北海道から南は九州まで気持ちを一つにする最高の共通語なんだと。

いつの災害現場でも、復興の手助けをしようと、若者を中心に大勢のボランティアが駆けつけています。一人の力は小さくとも気持ちを一つにすれば大きな成果となる。まさに「セーノ」の力だ。

今、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。地区の住民1,800人が「セーノ」の掛け声のもと、成し遂げられるものはないか思案中です。

### その2 「入口ひとつに出口多数」詐欺に注意の呼びかけ (平成28年3月発行)

定年後の高齢者の生活。退職金プラス年金で悠々自適と夢を描いていた。しかし、退職で緊張の糸が切れ、体調を崩し病気を発症。通院の合間に、子どもの結婚式、孫の入進学、家屋の補修など、出費多数に退職金は目減りするばかり…。年金支給日を追いかける始末に思わず不安が募る。

なんとか手持ちのお金を増やさねばと考えているところに忍び寄り詐欺の魔の手。未公開株の勧誘の電話、海外への投資話などに心がぐらり。

簡単に稼げるお金などあり得ないのです。

手元の筆筒のトラの子が吠えているよ。「この家を出たくない」って!

### 〈民生委員児童委員活動のPR〉

民生委員制度創設100周年となる来年度は、市民桜まつりでパレードの参加を検討中です。総勢900名、圧巻なパレードとなることでしょう。

(相模原市民生委員児童委員協議会)



カラーで読みやすいと好評の「高齢者かわら版」



毎月1回10日に公会堂で開催する「サロン鳩川」の様子



横須賀にある「大津地区ボランティアセンター」との交流

## 地区の概況

### 相模原市南区麻溝地区



人口	17,536人
世帯数	6,844世帯
高齢者 (65歳以上)	3,812人／21.7%
子ども (15歳未満)	2,388人／13.6%
民生委員児童委員	16人
主任児童委員	2人

H30.4現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 8年間見守り続けた 高齢者とのかかわりとおして

岩淵 富美代 (民生委員児童委員)  
藤沢市明治地区  
民生委員児童委員協議会



委嘱を受けてから、長期に渡り関わってきた高齢者の話です。前任者より「見守りの必要あり」との引き継ぎでした。奥様に認知症の症状があり、毎日のように町内に落ちているごみを拾っては、自宅に持ち帰る時期がしばらく続いていました。

度々訪問しましたが、ドアを開けてくださることはなく、数カ月が過ぎた時、やっとご主人に会うことができたかと思えば「誰の世話にもならん。自分達には構わないでくれ」との返事でした。行政のお世話になることは恥だという考えをお持ちだったのだと思います。そのため、行政の訪問も頑なに拒み続けておられ、奥様のお世話はご主人一人でした。

その後も何かと理由を作り訪問を続けました。しつこいと思われたか定かではないにしろ、少しずつ、今ここに暮らすことになった理由、家族は妻だけ、親族とは疎遠となっていることなど、話してくださるようになりました。



地区で実施した総合防災訓練では、自治会と協力して取り組み、民児協は車いすでの避難訓練を担当

それから2年半が過ぎたある日、「助けて。ひとりではもう無理」とご主人が頼ってくださった折に、手早い行政の対応で奥様は施設へ入所することができました。

さらに月日が経過した頃、「入所中の奥様があと幾日もない。身内の方へ連絡を取りたいが、どなたに連絡をしたらよいか教えてほしい」と施設より連絡があり、ご主人に了解を得て親族の方を知らせましたが、間に合わず亡くなりました。

最近のご主人が通院するとき、その方が同行してくださっていると聞き、わだかまりも消えたようでよかったです。

民生委員児童委員は、関係機関につなげてそれでおしまいではなく、その後も関わりが続きます。そのため、「見守り」という言葉に対し、どこからどこまでが見守りなのか、悩んでしまうこともしばしばです。

核家族で暮らしておられる家庭が多く、やがてご夫婦だけの生活から一人暮らしとなられることで、民生委員児童委員の役割が多くなっていくのではないのでしょうか。

### 住民を「見守る」ために

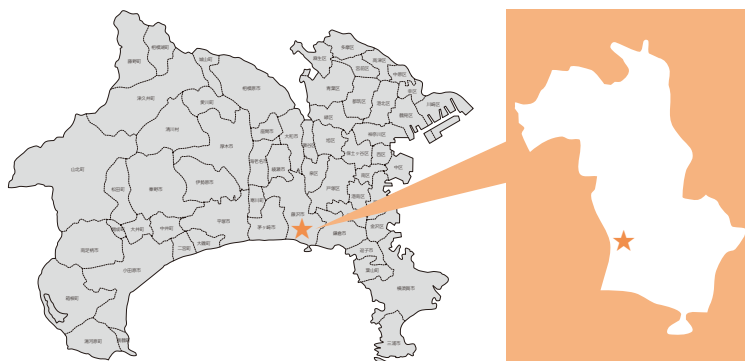
民生委員児童委員は、自らも地域住民の一員として、高齢者や障害のある方の安否確認や見守り、子どもや子育て世帯への声かけ等を行なっています。

一言で見守りと言っても、関わり方はさまざまです。「洗濯物は干されているか」「雨戸は開いているか」と散歩がてら様子を遠くから観察したり、熱中症対策として飲料水を渡すついでや、子育てサロンのチラシを手につつ訪問したりと、住民との距離に配慮しながら、見守りを行っています。

(神奈川県民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

藤沢市明治地区



人口	29,591人
世帯数	12,361世帯
高齢者 (65歳以上)	6,297人／21.3%
子ども (15歳未満)	4,550人／15.4%
民生委員児童委員	29人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 委員活動の喜び



相川 隆俊 (民生委員児童委員)  
川崎市川崎区  
小田地区民生委員児童委員協議会

### 地域の現状と時代の変化

私たち小田地区民生委員児童委員協議会が担当する川崎区の小田・浅田地区は人口28,313人、高齢化率は25.9%です。市内でも高齢化率が最も高い地域で、少子・高齢化がますます進行する中、一人暮らし高齢者や育児不安を抱える親もまた増加しています。さらに川崎区は外国人住民も多く、多文化共生の町として発展の歴史もありますが、近年は国籍も様々で、情報の把握や伝達にも難しさがあります。

### 「地域の見守り役」「よき相談相手」としての委員活動

当民児協は毎月定例会を開催し、関係機関との情報交換、研修会や各部会活動の報告、事例検討会等を行っています。事例検討会を通して見えるのは、一部の相談者に、民生委員児童委員ができる支援・援助等について十分理解されていないということです。今後も引き続き民生委員児童委員が、地域住民の「見守り役」「身近な相談相手」であり、「専門機関へのつなぎ役」であるということを、広く地域の方に、明確に伝えることが必要だと感じています。

また、幼児とママの友達づくりの応援の場として「小田子育てサロン」を毎月開催しています。平成15年に第1回が開催され、今年9月で第156回を数えました。

参加する親子は自由に遊んだり情報交換をしたり、また、公立保育園の協力を得て歌や踊りの披露や、保育士による食事に関するお話、子育ての悩みなどの相談、保健福祉センターの保健師による健診、インフルエンザのお話や相談も行っており、参加者に大変喜ばれています。

年間4回程度開催する民児協全体での研修会・交流会とともに、母子児童福祉部会・高齢者福祉部会・障害者福祉部会での活動があり、児童福祉施設、障害者福祉施設、高齢者福祉施設での研修会、交流会等を各部会で年間5回程度開催しています。

地域の小学校や中学校での「昔遊び」等の伝承授業の協力や、先生・生徒との定期的な意見交換会への参加や、地域の高齢者会食会に積極的に参加協力し、地域状況の把握に努め、民生委員児童委員活動の相談・援助に生かし、「地域の見守り役」「よき相談相手」として健全な地域社会づくりに精進しています。

平成12年より年1回開催している小・中学校教諭との交流会や各種地域イベントへの参加、街頭でのオリジナルウェットティッシュ配布等、活動を通して民生委員児童委員の広報周知に努めています。

(川崎区民生委員児童委員協議会)



小田子育てサロンの様子



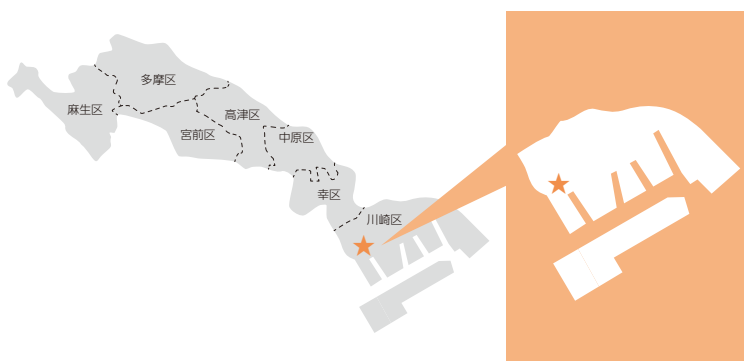
昔遊びの様子



小・中学校教諭との交流会

## 地区の概況

川崎市川崎区小田地区



人口	28,358人
世帯数	14,097世帯
高齢者 (65歳以上)	6,473人/22.8%
子ども (15歳未満)	3,829人/13.5%
民生委員児童委員	37人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## わが町堀睦 絆でつなく福祉活動

大竹 多喜男 (民生委員児童委員)  
横浜市南区堀ノ内・睦地区  
民生委員児童委員協議会



堀ノ内・睦地区民生委員児童委員協議会（以下、堀睦地区）は、中区と西区に隣接する、人口約6,430名（約3,444世帯）、うち65歳以上の人口は1,829名の地域です。下町なので戸建ての家、なかでも古い家が多く、高齢化、核家族化が進んでいます。最近では空家も目立つようになりました。

区内でも高齢化率が高く、一人暮らし高齢者、高齢者世帯への定期訪問等、民生委員児童委員と主任児童委員合わせて16名で、多岐に渡る活動に取り組んでいます。

近年では、一人暮らしの方、高齢者世帯からの介護相談が非常に多くなってきており、地域ケアプラザ（地域包括支援センター）や、区役所の高齢者支援担当に相談や橋渡し、友愛活動員と連携した訪問活動など、地区社協と連携してネットワークを張りめぐらし、網の目から抜け落ちないように、絆でつなく福祉活動を心掛けています。

日常生活の支援として高齢者宅のゴミ出しのお手伝いや、ちょっとしたボランティアとして買い物をしたり、また災害時の支援についても準備を行い、民生委員として、安心・安全なまちづくりを常に目指しています。

堀睦地区は、繁華街に近いこともあり、地区内に外国籍の子どもたちも多く、不登校や虐待問題について、言葉が通じにくいことで対応に苦慮することがあります。課題解決に向けて、地域の皆さんにも協力をいただいています。

堀睦地区民児協の主な行事をご紹介します。月1回の定例会は恒例ですが、毎年7月最後の土日に、南区最大規模の「南まつり」が行われます。このイベントに模擬

店を出店し、地域の方々と交流しています。

また、民生委員、友愛活動員、保健活動員、地区社協が合同で、福祉施設を会場に高齢者を対象とした手づくり演芸会「いきいき堀睦会」を開催し、コミュニケーションを深め、参加者に毎回大変喜ばれています。

南区では、民生委員制度創設100周年に向け、記念式典も計画しています。

南区民児協のキャッチフレーズ「明るく たのしく 前向きに」をモットーに各地区で活動しています。



「南まつり」には毎年大勢の区民が集まり、交流を深めている



演芸やビンゴゲーム等盛りだくさんのプログラムで楽しむ

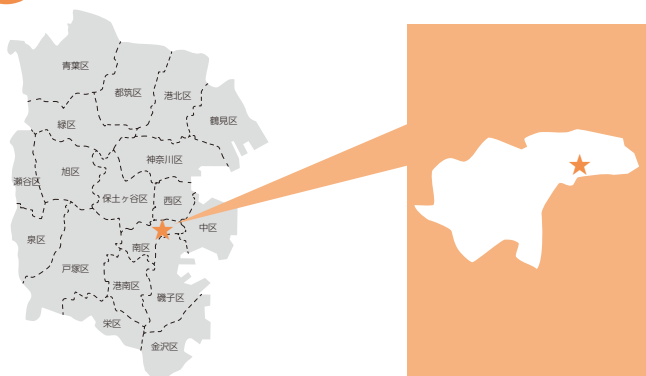
### 一人で抱え込まないために

地域内のさまざまな人・団体と協働し、重層的な見守り活動や事業を展開したり、毎月の区・地区の定例会で顔を合わせて課題共有を行うなど、民生委員児童委員が「ひとりで抱えこまずに」活動を継続していける環境づくりが求められています。

(横浜市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

### 横浜市南区堀ノ内・睦地区



人口	6,384人
世帯数	3,543世帯
高齢者 (65歳以上)	1,862人／29.2%
子ども (15歳未満)	662人／10.4%
民生委員児童委員	14人
主任児童委員	2人

H30.3.31現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 「茹でピー」で仲間づくり おしゃべりサロン「えんがわ」

篠崎 稔 (民生委員児童委員)  
相模原市中央区  
田名地区民生委員児童委員協議会



「友ありて人生は楽し」と申しますが、高齢の方々も気軽にお話できる仲間がいて“人生は楽し”ではないでしょうか。

訪問した高齢の方から「夫婦の会話が少なくなった」「ご近所の方々と話ができる場を作ってほしい」といわれ、担当地区内の定年退職者を対象としたおしゃべりサロン「えんがわ」を立ち上げ11年目を迎えました。現在会員は24名で、月1回の集まりと“茹でピー”用の落花生栽培と販売を行い、仲間づくりをしています。

落花生造りを全く知らなかった会員が、夏の暑い日の除草など農作業の大変さを身をもって体験しながら、昨年は176人の皆様に頒布するまでになりました。



参加者は全世帯の10%前後の小さな会に過ぎませんが“災害の発生時に私たちは何ができ、何をしたらよいのか”等、経験豊富な参加者の知恵を生かして、具体的な準備について話し合いながら、地域の仲間づくりを広げています。

月1回の定例会は、毎回ほぼ全員が出席し健康や身近な出来事、近隣で困っていることなど全員に発信し、全員で聴いています。

福祉情報誌には、隣近所の気付き合いや助け合い等で少しでも安心して暮らせるように書かれていますが、小さなことでも自分で考え、計画し、実行することが大切

だと思われま。す。「物事が成し遂げられないのは、人が最初からそれをあきらめて、成そうとしないからである。挑戦してみれば、成し遂げられぬことなど何もない。現状を嘆いて手をこまねいているより、まずやってみようではないか」これはご存知上杉鷹山の言葉です。

高齢者の仲間づくりの会を作って一番良かったと思うことは、会員からの情報により、民生委員の主たる役割である担当地区内の要援護者の発見や、相談と必要なサービスへの紹介において、地域と行政等を結ぶパイプ役がスムーズにできたことです。民生委員信条でも担当地区の実情把握がうたわれていますが、なかなか難しいのが実際です。

最後に運営の基本、この世のことは「運否天賦」小さなことにこだわらず、明るく朗らかに活動を進める、このことを申し上げ、結びとします。



### シニアの力と民生委員活動

要援護者に関する情報を、シニアの仲間づくりの活動を通して把握する取り組みは、福祉の担い手を地域に広げ、「住民に寄り添い、関係機関や行政につなげる個別支援活動」として、地域でのセーフティネットづくりに大きな役割を担っています。

(相模原市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

相模原市中央区田名地区



人口	30,522人
世帯数	11,624世帯
高齢者 (65歳以上)	7,845人 / 25.7%
子ども (15歳未満)	4,210人 / 13.8%
民生委員児童委員	28人
主任児童委員	2人

H30.4現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 地域を歩き、地域を深く知ることが大切

田近 公榮 (民生委員児童委員)  
小田原市幸地区  
民生委員児童委員協議会



古い歌があります。「とんとんとんからりと隣組」という歌い出しで始まる「隣組」という歌ですが、昔は隣組を組織して、ご近所同士の関係を計った時代がありました。現在は自治会や町内会の組織の中に組み入れられていて、そのつながりの中で、住民である私たちは暮らしています。しかし住民の暮らしはさまざまであり、平穩に暮らしている人もいれば、また逆に何らかの困難を抱えている人もいます。そういう地域の中で、地域福祉の増進のために活動するのが民生委員児童委員（以下、委員）です。

委員は、地域の実情をしっかりと見ていかなければならず、簡単に出来ることではありません。時間も掛かります。しかし、この目を養っていかないと地域のことが分からないままになってしまいます。委員になったばかりの頃は、皆こうした不安の中で活動しなければなりませんが、人間の能力とは不思議なもので、地域の中を歩き、話を聞いたりしていくうちに、地域全体が分かってきます。分かってきたところで、さらに深く知るための努力をしていく必要があります。委員の仕事は、その地域の実情をつかんだ上に成立つ仕事だからです。

まずは、地域の実情をできるだけ細部にわたって把握をすること、その結果浮上してきたそれらの問題につい

て善処するよう心掛けることが大切です。また、自分一人で頑張るのではなく、地域のいろいろな役を持っている人たちの知恵を借りるのも重要なことです。私の例で言いますと、自分の担当地区が広いので、3つの区域に分けて、地区ボランティアの皆さんより地域に関する情報を提供してもらうなどして、細部まで目が行き届くような体制づくりをしています。

買い物や庭掃除ができない、話し相手がいない、家庭内や近所付き合いの問題など、地域にはさまざまな悩みを抱えている人たちがいます。地域の実情を把握することは大変かもしれませんが、自分の力では無理だと思う人もいると思います。しかし、少しずつ自分の中で整理していくことで、その人たちにとってよい隣人になれるのではないかという思いをもって、公正を旨として、自分の人格と識見の向上に努め、日々活動しています。

幸地区民児協では、高齢者部会、障害者部会、児童部会を設け、それぞれの対象者に関する研修を実施しています。また、地域では相談しにくい内容にも対応するため、心配ごと相談部会を設け、週1回相談窓口を開設しています。

(小田原市民生委員児童委員協議会)

月1回の昼食会では、遊び道具を持ち寄り、交流を深めている

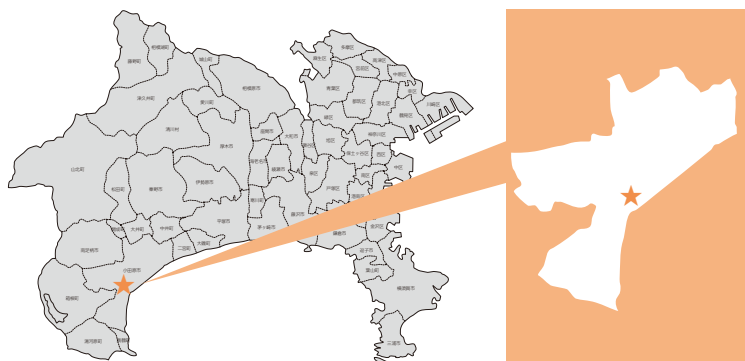


高齢者交通安全教室の様子



## 地区の概況

### 小田原市幸地区



- 人口 193,245人\*
- 世帯数 80,100世帯\*
- 高齢者 (65歳以上) 55,106人 / 28.5%\*
- 子ども (15歳未満) 22,357人 / 11.6%\*

民生委員児童委員 9人

主任児童委員 2人

H29.1.1現在

\*幸地区のみでの人口等の統計はありません。小田原市全体の統計を記載しています。



# こんにちは！ 民生委員児童委員です



## 民生委員児童委員活動ができる 幸せを感じながら

小島 治則（民生委員児童委員）  
川崎市幸区南河原地区  
民生委員児童委員協議会



南河原地区民生委員児童委員協議会は、JR川崎駅西口に隣接し、人口は約27,000人です。西口再開発で地区の発展は目覚ましく、大型商業施設や大規模な高層マンションの建設等で地域の経済・居住環境も大きく変化しています。若い年代の転入者や居住歴の浅い住民が増えており、住民同士の結び付きの希薄化が懸念される今、支援を要する方々が安心して暮らし続けるために、民生委員児童委員・主任児童委員の役割の重要性を再認識し、いろいろな取り組みを進めています。

毎月の定例会時には各委員が関わった事例を報告し、対策を話し合い、情報の共有と委員の対応力アップに努めています。また、地域包括支援センター等関係機関との情報交換も定期的に実施しています。三部会の活動も活発に行い、高齢者・障がい者・児童をとりまく今日的な課題について学びを深め、月3回以上の担当地区のパトロール、子育てフリースペース、要援護者マップ作り等、活動は多種多様です。

担当地区パトロールでは、高齢者の緊急を要する発見、認知症、徘徊など高齢者特有の事例報告がされています。昨年は「子育てフリースペース」の活動に対し、民生委員優良活動団体として「厚生労働大臣表彰」を受けました。また、民生委員が通学児童の見守り活動中の

様子を読売新聞（全国紙）に投稿し、掲載されました。

幸区が推進する「幸区ご近所支え愛モデル事業」の「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすために」支援を要する人との絆を一層深くして活動を進めます。

南河原民児協の民生委員児童委員・主任児童委員は、今後もレベルアップを図り、地域の「頼りになる見守り役」「何でも話せる相談相手」「行政・関係機関へのパイプ役」として、住民の期待に応えていきたいと思っています。

私は民生委員児童委員を委嘱されてから3期目です。今後も、何をすべきなのか？どの様な支援ができるのか？仲間と一緒に考え「お世話できる」幸せに感謝し、委員全員で活動をしていく所存です。

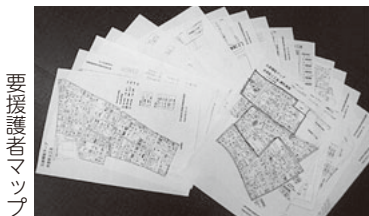
毎年5月の総会と秋の全体研修会では、区内の委員が一堂に会し研鑽に努めています。また、各地区の高齢、障害、児童の部会長による部会長連絡会を開催し、情報交換、研修、イベントの企画なども行っています。

幸区民祭の舞台でのPR活動も、恒例となりました。今年は民生委員制度創設100周年ということで、幸区版の記念誌を作成します。

（川崎市幸区民生委員児童委員協議会）



厚生労働大臣賞受賞



要援護者マップ



地域包括支援センターとの情報交換会（年2回実施）

## 地区の概況

川崎市幸区南河原地区



人口	28,016人
世帯数	16,172世帯
高齢者 (65歳以上)	4,950人／17.7%
子ども (15歳未満)	2,922人／10.4%
民生委員児童委員	33人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在

# こにちは!

# 民生委員児童委員です



## みんなでめざそう 「ふれあい ささえあいのまち」

五十嵐 輝子 (民生委員児童委員)  
横浜市港南区  
日野第一地区民生委員児童委員協議会



横浜市港南区のほぼ中央に位置する日野第一地区は、昔から住んでいる方や宅地造成での戸建て住宅、その後の開発によるマンション群に転入してきた方など、様々な人たちが暮らしています。年少人口割合が14.3%と、区内15地区で最も高い、比較的若い地区です。地区内の吉原小学校は地域防災拠点でもあるので、「ふれあいフェスタ」など地域の行事は主に小学校で行われています。

地区民生委員児童委員協議会 (現在委員14名) では、以前より未来を担う子どもたちの健やかな成長を願って、吉原小学校及びPTAと連携を深めています。3年生の学習の一環として行う地域の高齢者とのふれあい給食会やふれあい遊びでのつなぎ役を担い、PTA校外指導委員とは相互理解と顔が見える関係づくりを目的に懇談会を行っています。民生委員児童委員、主任児童委員の活動紹介、地区ごとに分かれての自己紹介や話し合いなどの中で、民生委員は児童委員を兼ねていること、子どものことを専門に担当する主任児童委員がいること、民生委員には守秘義務があることなどを説明し、身近に相談相手がいることをPRしています。若い保護者からは「地域にそんな人があることを初めて知りました」などの声もあり、これ

からも児童委員の活動を地域の中で広めていく必要性を感じ、進めていきたいと考えています。

また地域防災拠点訓練では、援護班として疑似体験や当事者のお話を聴く場をつくるなど、支援を必要とする方々への理解が深まるよう努めています。

活動は高齢者への支援、社会福祉協議会への協力などを含め多岐にわたりますが、当地区民生委員児童委員協議会では、委員を長く続けられるよう、話しやすい、相談しやすい環境をつくり、大変でも仲間がいるから続けられると思えるような活動を心掛けています。

地域における若い世代と高齢の世代とのつなぎ役として地域の輪をさらに広げていきたいと願っています。

民生委員制度創設100周年にあたる平成29年、児童委員制度は創設70周年を迎えます。民生委員は児童委員を兼ねており、地域の子どもの見守り活動を進めています。子どもたちの健やかな育ちのため、日頃から顔見知りになり、子どもたちにとって「身近なおとな」となれるよう、学校や子ども会等の関係機関・団体と協力しながら取り組んでいます。  
(横浜市民生委員児童委員協議会)



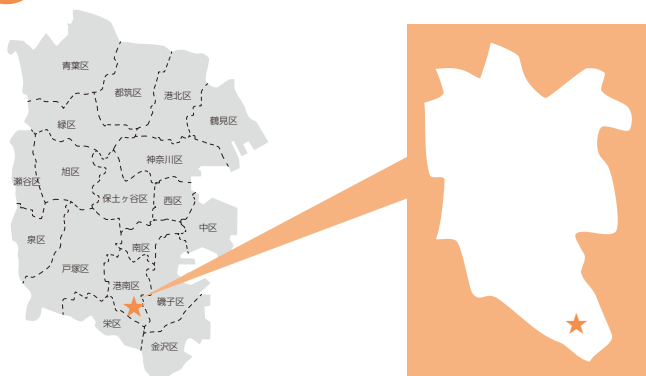
「地域の交流の輪を広げる  
「ふれあいフェスタ」」



子どもの安全をテーマに  
PTAの皆さんと意見交換

## 地区の概況

### 横浜市港南区日野第1地区



- 人口 13,566人<sup>※1</sup>
- 世帯数 5,586世帯<sup>※2</sup>
- 高齢者 (65歳以上) 2,784人/20.5%<sup>※1</sup>
- 子ども (15歳未満) 1,877人/13.8%<sup>※1</sup>

- 民生委員児童委員 14人
- 主任児童委員 2人

H30.5.1現在

※1 H29.3.31住民基本台帳登録者数  
※2 H27.10.1国勢調査結果

# こんにちは！ 民生委員児童委員です



仕事とは…人を楽にすること  
「傍楽」(はたらく)なり

森 誠壽 (民生委員児童委員)  
相模原市緑区  
橋本地区民生委員児童委員協議会



相模原市橋本地区民生委員児童委員協議会は、相模原市緑区に位置する、構成委員82名の大規模な組織です。

この地域は、平成39年に開業予定のリニア中央新幹線の新駅が橋本駅に隣接して設置されることに伴い、駅周辺のさらなる発展が見込まれています。

周辺は豊かな自然環境を残す一方、急激に高層マンションが建ち並び始め、街並みを一変させており、それに伴い民生委員活動も変化せざるを得ない状況です。特に安心・安全については、生活環境の変化に順応することが重要との認識を持って活動しています。高齢化に伴い、認知症対策、孤独死の防止等について、自治会会員、ボランティア団体等との連携による見守り活動を地域に広め、活発化する必要があると考えています。

当地区においても、見守りの事例報告が多々あります。その一例として、高齢者の見守り中、訪問先で対象者が倒れていて、助けを呼べない状態にありました。

とっさに地区社協と協働で行った要援護者支援事業で配付した「緊急医療ケース」(おたすけケース)を活用して救急隊員に対象者の健康状態を伝え、速やかに処置することができました。民生委員の地道な活動で一命をとり留めたという嬉しい事例です。



本会では、見守り事業として要援護者リスト・マップ、さらに「おたすけケース」の中に入れてある本人が記し

た健康記録と情報を一体化させています。

年間を通じて、自主的な研修会、情報交換、見守りに関連した講演会等により、研鑽を積んでいますが、見守り活動を行う民生委員のなり手が不足しているのも事実です。



本会では、月例会にて関係機関からの情報に加え、活動事例報告等を交え、全員の意思疎通を図るように努めています。さらに宿泊研修、七夕まつりや地域の公民館まつりに参加し、民生委員のPRと委員相互の親睦を図っています。

民生委員のなり手の確保が課題ですが、いろいろな地域活動に協力し、安心、安全の街づくりに協力を惜しまず取り組んでいきます。

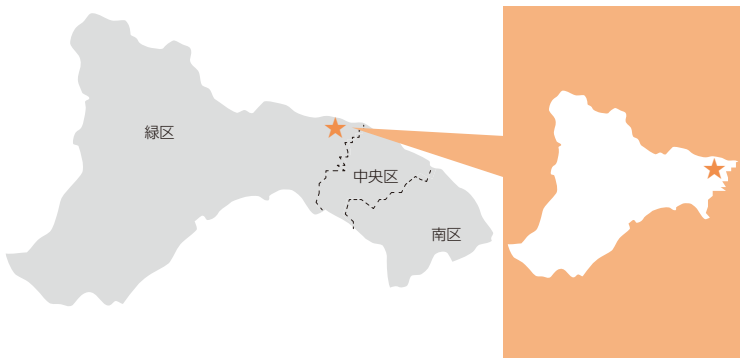


周囲の人を楽にする、喜んでもらえるという「やりがい」が民生委員活動の継続や民児協運営のポイント。「傍(はた)を楽(らく)にする」ように「働く」人が増えると良い街づくりにつながるのではと考えながら、取り組みを進めています。

相模原市民生委員児童委員協議会

## 地区の概況

相模原市緑区橋本地区



人口	72,359人
世帯数	34,055世帯
高齢者 (65歳以上)	15,042人／20.8%
子ども (15歳未満)	9,312人／12.9%
民生委員児童委員	79人
主任児童委員	3人

H30.4現在

# こんにちは！ 民生委員児童委員です。



## 委員としてできること 「寄り添い」そして「つなぐ」 ～民生委員活動を振り返って～

高島 幸代  
(元・民生委員児童委員)  
開成町民生委員児童委員協議会



私は新任の頃、家族のように寄り添い支援したいと使命感に燃えていました。しかし定例会の中で、ある事業について「これは民生委員としてやることなのか」と先輩委員が発言されました。その時は「なんて薄情なの…」と思いましたが、活動をしていくうちに「何でもすることは本人のためではなく、また公平性や継続性を考えると民生委員としてはどうなのか。時間を問わず、誰にでも、いつまでも直接支援活動をしていたら、民生委員自身が疲弊してしまう」と思うようになりました。



定例会の様子

そこで2期目ごろからは「民生委員として何ができるのか」ということを常に自分に問いながら活動するように努めました。例えば民生委員が支援者の現金の支払いをしたり、通院のため車に乗せたりする事は、トラブルが発生することなども考えられるので、直接は行わず関係機関のサービスなどの利用につなぎました。また買い物に困難な方には、町民児協で「買い物お助けリスト」を作成して対応に備えました。

幸いにも関係機関である町社協が民児協の事務局を担い、包括支援センターも受託しているため、相談やサー

ビス利用にとてもつなぎやすいです。

町の福祉課や子ども子育て支援室など、様々なつなぎ先の専門職にもお願いしました。対応の結果をフィードバックしてもらえると、支援者との関係がスムーズになるので大変助かります。

また開成町は自治会活動が盛んです。民生委員は担当の自治会での福祉行事、災害時要援護者登録制度の運用などに協力しています。その時に民生委員活動について理解を得たり、地域の人々と顔見知りになったり、そこから地域の実情が分るなど、様々な気付きがありました。

民生委員としてできる事は限られているかもしれませんが、委員同士が協力し合い、様々な機関と連携して地域の人々を見守り、寄り添ってきた活動を振り返ると、大きな充実感と安堵を感じています。

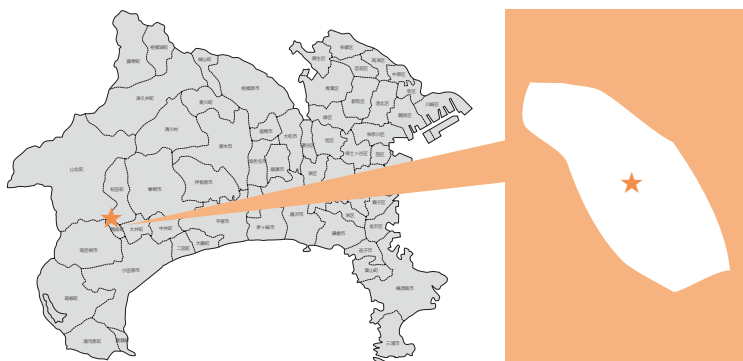
神奈川県で一番小さな「町」。そんな開成町は年々人口が増えています。昨年は約200人増。うち約半数が65歳以上高齢者でした。平成22年4月に町内2つ目の小学校が開校し、平成30年には新たな自治会が組織される予定です。地域の変化も早く、様々な課題が浮き彫りになってきました。現在ある13自治会すべてに「福祉部」が組織され、委員の皆様も福祉部と連携して活動しています。

県内ではあまり多くありませんが、事務局は町社協が担っています。委員の皆様が活動しやすいように取り組んでいきたいと思います。

開成町民生委員児童委員協議会

## 地区の概況

開成町



人口 17,581人

世帯数 6,964世帯

高齢者  
(65歳以上) 4,304人

子ども  
(15歳未満) 2,890人

民生委員児童委員 32人

主任児童委員 2人

H30.5.31現在

こんにちは！

# 民生委員児童委員です



## 地域で楽しむ落語・音楽カフェをめざして



森 昭司（民生委員児童委員）  
川崎市高津区  
橘第3地区民生委員児童委員協議会

川崎市高津区橘地区に市高津老人福祉地域交流センター（以下、センター）が開所して10年になりました。

センターが行う講座や自主グループの活動などに集う高齢者が多く見られ、交流の輪が広がるなど、心の憩いの場所として大きな役割を果たしていると感じます。

本会の平成28年度の事業活動計画に、地域の高齢者の方々に楽しく喜んでいただき、また、民生委員児童委員ともかかわりができるような、気軽に来られる「カフェ」をセンターで開催することを挙げました。若い人とも交流したいと、センターの職員に相談し、市内にある専修大学の落語研究会、洗足学園音楽大学のたこゼミにご協力いただけることになりました。

運営は橘地区社協が全面的に協力くださり、民生委員児童委員、地域の協力者の23名により準備を進めました。カフェにはおいしいコーヒーも必要と、喫茶店のオーナーからコーヒーの淹れ方も習いました。

第1回目は5月21日。会場は74名のお客様で満席です。専修大学落語研究会による落語が始まりました。

コーヒーをいただきながら皆さんもリラックスし、笑い声も大きくなって



専修大学落語研究会による寄席に皆明るく笑う

いきました。

60分の落語が終わり、大きな拍手が起こりました。帰る人達も満足した顔です。成功裏に落語カフェは終わりました。

第2回目は7月6日に洗足学園音楽大学の生徒さんによる音楽カフェを開催。この日も満席になりました。

顔なじみの方が多く、席を譲り合うなど和やかな雰囲気の中、賑やかなアンサンブルで始まりました。



洗足学園音楽大学生徒さんにより間近で奏でられる音楽を堪能

音楽付き絵本朗読・ギター弾き語りと演奏は続き、最後は会場の皆さんと懐かしい昭和歌謡を元気に歌い、手を叩いたり、たこゼミの生徒さん12名と指導者2名で音楽カフェを盛り立ててくれました。

若い人達が一生懸命取り組む姿に高齢者がどう反応したか、大切な一時だったと思います。

その後3回のカフェも無事に終わらせる事ができました。

平成29年度も地域に密着した、高齢者が楽しめる憩いの場所にしたいと願っています。

民生委員制度創設100周年記念として5月23日にミュージア川崎シンフォニーホールにて、民生委員児童委員大会を開催しました。

約1,500人の方々に参加をいただき、第2部では洗足学園大学のOBによる演奏会で100周年を祝うことができました。参加した方々も喜んでいただいていたと思っています。

川崎市民生委員児童委員協議会

## 地区の概況

川崎市高津区橘第3地区



人口 31,772人

世帯数 13,934世帯

高齢者 (65歳以上) 7,993人 / 25.2%

子ども (15歳未満) 4,207人 / 13.2%

民生委員児童委員 28人

主任児童委員 2人

H30.3.31現在



## 地区民児協出前講座

長谷川 正義 (民生委員児童委員)  
横浜市都筑区民生委員児童委員協議会



昭和50年代、私が初めて民生委員児童委員に委嘱された当時は、毎月の地区民児協の定例会に当時の緑区役所福祉事務所から、福祉課長もしくは保護課長が社協職員と一緒に会議に出席していました。

地区民児協では、総務(現・地区会長)からの説明に加え、課長からも区民児協で協議された内容を資料とともに話をしてもらうことで、地域の実態の把握や各種要望の収集が可能となり、その後の区政並びに地域福祉の推進に大きな役割を果たしていました。

しかし、今日では区役所も地区民児協に出席する機会が少なくなり、各種情報について、提供される量や、共有できる内容がある意味乏しくなっております。

そこで都筑区民児協では、区職員と協働することによる意識改革、行政との信頼関係の醸成、担当者との連携を深め各種事業推進の理解度向上等を目指し、ここ10年以上、各地区民児協で福祉保健センターの係長、職員による出前講座(ミニ研修)を行い、各種情報交換を行っています。

毎年度、地域の希望に応じて各地区3項目から5項目のテーマについて、40分程度の情報提供を受けています。研修テーマは次の通りです。

- ①福祉保健課：民生委員児童委員の役割、福祉カード・活動記録の書き方、いわゆる「ごみ屋敷」対策、地域福祉保健計画、健康づくり
- ②生活衛生課：食品衛生、環境衛生
- ③高齢・障害支援課：介護保険制度、高齢者支援、障害者理解と障害者差別解消の取組

長谷川正義様におかれましては、平成29年7月27日にご逝去されました。生前は、民生委員児童委員部会副会長として多大なるご尽力をいただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

④こども家庭支援課：子育て支援、ひとり親家庭への支援、待機児童対策と保育所、児童虐待防止、放課後児童対策

⑤生活支援課：生活保護制度・生活困窮者自立支援制度

⑥保険年金課：国民健康保険、介護保険料の仕組み、後期高齢者医療、国民年金

出前講座により、信頼関係の構築と顔の見える関係づくりが進みました。区役所からの情報提供で得られた知識は、特に新任委員のやりがいと安心感にもつながり、今後も続けていきたいと考えています。



出前講座の様子

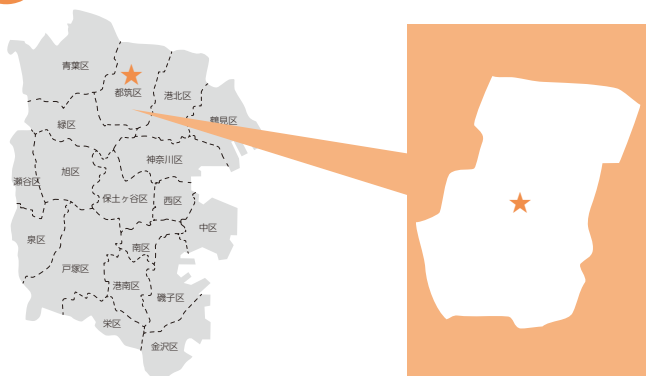
民生委員・児童委員の役割のひとつとして、関係機関等への「つなぎ役」があげられます。

日頃から顔の見える関係づくりをすすめる中で、関係機関がどのような役割を果たし、どのように連携できるか等を把握しています。

(横浜市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

### 横浜市都筑区



人口 210,647人

世帯数 85,172世帯

高齢者 (65歳以上) 35,439人 / 16.8%

子ども (15歳未満) 33,873人 / 16.1%

民生委員児童委員 158人

主任児童委員 20人

H30.3.31現在

# こんにちは！ 民生委員児童委員です



## 広がる地域の輪 民生委員児童委員活動で “地域力UP！”



長岡 彰（民生委員児童委員）  
相模原市南区  
東林地区民生委員児童委員協議会

相模原市南区にある東林地区は、区の一番外れに位置し西は座間市に、南は大和市に接しています。

鉄道は南北に小田急江ノ島線、東西に小田原線が通っています。最寄りの駅は江ノ島線が東林間駅、小田原線が小田急相模原駅です。



緑豊かな東林間桜通り  
(東林間駅東口)

街は駅周辺を中心に商業区域が広がり、その周りを大型マンションや一般住宅が取り囲んでいるといった極めて活気のある若い街です。また、一昨年、高校野球夏の大会で全国制覇した、東海大付属相模高等学校もこの地区にあります。

東林地区の民生委員児童委員は59名（うち、主任児童委員3名）で、日夜頑張っているところであります。

東林地区で力を入れている取り組みが、市全体で行う高齢者訪問活動とは別に、77歳以上の高齢者に「とらやの最中＝3個入り」を一軒一軒配り訪問する事業です。その数4,200個。以前実施していた歌謡ショーや観劇などから、一人でも多くの高齢者にその施策が行き渡るようにと最中に代えたもので、大変喜ばれています。あえて「とらや」にしたのは、そのネームバリューを尊重してのことです。「暑いさなか、汗を拭き拭き配るのは大変だったけど、喜ぶ顔を見ると疲れも飛ぶね」とは私た

ち民生委員児童委員の本音。

さらに、高齢者への取り組みとして、地域包括支援センターが実施する「認知症カフェ」（2カ所）への協力や、民生委員児童委員が関わるサロン（9カ所）があります。

このほか、各公民館のエリアを単位に、地域の活性化や住民の親睦と交流の場として開催される「ふるさと祭」で行う大バザーがあります。公民館の大・中・小会議室を使っのバザーは大好評。開店2時間前から並んでいます。売り物は衣類や履物、雑貨、電気製品、アクセサリなどなど。売上金は毎年30万円をやや下回るほどで、地区社協へ寄付をしています。

そして重点事業の1点目として、ご近所の協力と地域の理解を必要とする「地域ケア会議」のさらなる充実があげられます。市はもとより関係機関や民生委員児童委員とともに“地域力”を高めていくことが望まれます。

2点目が今各地域でその輪が広がってきている「子ども食堂」の開設であります。これは地区社協、自治会、ボランティア団体などとの連携をしっかりと確立させ、子どもたちにあたたかい家庭の味を知ってもらうこと、地域の大人たちとのつながりづくりとなることを願って、推進してまいります。

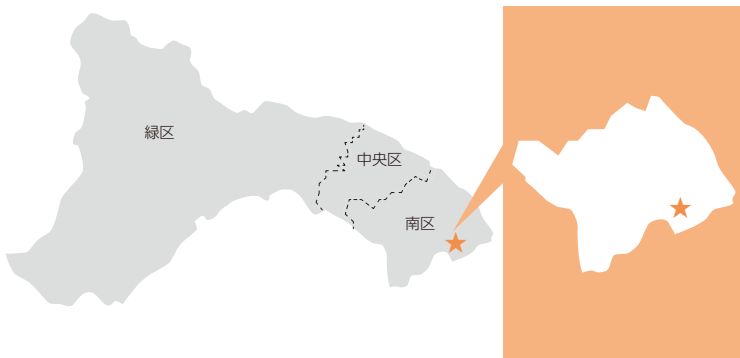
東林地区民児協の訪問活動やバザーなど、委員さんの熱心な活動ぶりには頭が下がるばかりです。

100周年を機に民生委員活動を広く市民に周知し、東林地区をはじめ地域連携がうまくいくように事務局一同サポートしていきたいと思ひます。

(相模原市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

### 相模原市南区東林地区



人口	40,978人
世帯数	20,122世帯
高齢者 (65歳以上)	10,747人／26.2%
子ども (15歳未満)	4,150人／10.1%
民生委員児童委員	56人
主任児童委員	3人

H30.4現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 平塚市花水地区民児協の「子育てサロン」

平塚市花水地区民生委員児童委員協議会（以下、花水地区民児協）は、平塚市の海岸に面した国道134号線沿いの世帯数7,733世帯、人口18,345人が住んでいる地域で、民生委員児童委員24名と主任児童委員2名の合計26名により運営されています。

### 花水地区民児協の「子育てサロン」

子育ては昔に比べると深刻な問題になっていると感じます。花水地区民児協では7年ほど前から当地区民児協独自で運営する「子育てサロン」を開催してきました。

開催日は原則的に毎月第4月曜日の午前10時からで、対象は未就学児童です。

子育てサロンに来る方のきっかけ・背景はさまざまです。家庭の事情から未就学児を育てているひとり親家庭の方がおり、その方に児童扶養手当の申請手続きや保育所の申請の助言を通して「子育てサロン」の開催をお伝えした例もあります。

「子育てサロン」の内容は月によって異なりますが、当地は平塚なので「七夕竹飾り作り」や、「ブックフェスティバル」との共催で「お楽しみ会」の開催、「お茶会」、「手作りおもちゃ」、保健師による「保健指導」、栄養士による「栄養指導」、歯科衛生士による「歯科指導」も行っています。

特に12月の「クリスマス会」は人気があります。民生委員児童委員の男性がサンタクロース役になって、子どもたちにプレゼントを贈るのです。毎年大盛況で、保護者である父母と児童を合わせると200名を超える参加者があります。

小原 公一（民生委員児童委員）  
平塚市花水地区  
民生委員児童委員協議会



昨年の12月のクリスマス会には、児童扶養手当等の申請手続きの際に案内をしたひとり親家庭のあのお母さんがお子さんを連れて参加していました。

「サンタさんに会えた!」というそのお子さんの喜びの顔を見ていると本当に幸せそうで、その喜んでいるお子さんを見ているお母さんの顔も大変嬉しそうで、それを見ている私たちも幸せな気持ちになりました。



子どもや親御さんの笑顔があふれるクリスマス会。閉会後は民生委員児童委員もこの笑顔

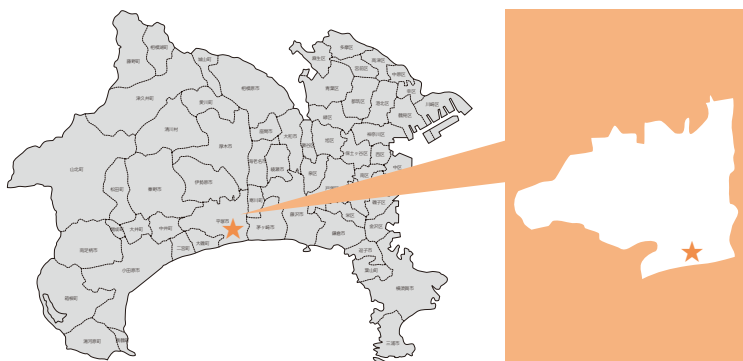
平塚市内では、民生委員児童委員やそのOB・OG、町内福祉村（※）により、現在50カ所の「子育てサロン」や「子育てサークル」が、各地域の公民館を利用して毎月開催されています。

少子高齢化の時代、子育て中の親御さん同士、また子育て支援者や地域の人と出会う場として、子育てサロンはますますその存在が重要視されるようになってきたのではないのでしょうか。

※平塚市独自で行っている地域住民、関係者、市が協働して地域住民が主体となった地域における支え合いの仕組み  
（平塚市民生委員児童委員協議会）

## 地区の概況

### 平塚市花水地区



人口	258,141人 <sup>※1</sup>
世帯数	108,679世帯 <sup>※1</sup>
高齢者 (65歳以上)	68,618人／26.8% <sup>※1</sup>
子ども (15歳未満)	31,023人／12.1% <sup>※1</sup>
民生委員児童委員	24人 <sup>※2</sup>
主任児童委員	2人 <sup>※2</sup>

※1 花水地区のみでの人口等の統計はありません。平塚市全体の統計を記載しています。H29.1.1現在

※2 H30.6.1現在



# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 地域住民への自助・互助の周知と居場所づくりを目指して

老門 聡子 (民生委員児童委員)  
川崎市宮前区  
宮前第4地区民生委員児童委員協議会



東名川崎インター出口に位置する土橋、けやき平、神木を担当する宮前第4地区は、終戦直後わずか57戸の農家が点在した地に、昭和40年代の田園都市線の開通により急激に発展し、世帯数9,500、人口22,000の純住宅地に発展しました。昭和50年代の人口急増に対応して新設された小中学校には、これらの子どもたちの放課後・休日活動をサポートするため、子ども会を核に各種ボランティア団体も加わった支援活動が活発になり、その中心に多くの新住民が参加しました。地元住民と新住民の垣根のない交流の源流がここにあり、現在の民生委員児童委員活動にもつながっています。

平成16年に町内会・自治会、地元保育園の協力を得て始めた毎月1回、2カ所で開催する子育てサロン「すくすく土橋」「すくすくけやき平」は、今年3月、新たに「すこやか神木」をオープンしました。前半は保育士さんの手遊びや育児に関するお話、地元スイミングスクールのインストラクターによるママを元気にするコンディ



ショニング等親子で遊び、後半は「ママカフェ」に変身し、幼児のお相手は、保育経験者、退任委員、地域のボランティア等、会場は世代間交流の場となり会話が弾みます。

平成23年11月、地域包括支援センター、町内会、地区民児協、老人クラブ、地区社協等、地域のさまざまな関係機関や専門家で構成された「土橋地域包括ケア連絡会議」が発足し、地域での新しい福祉活動への取り組みが

始まりました。「認知症を地域で支え合おう」という目的のもとに平成25年9月に「土橋カフェ」がスタートし、認知症の方やその家族、地域の誰もが気軽に立ち寄る場となりました。会費100円でドリップした珈琲や抹茶・紅茶等お代わり自由、「カフェ」という名の通り、お茶を飲みながらゆっくり過ごすことができます。常に医師や認知症ケアアドバイザー、ケアマネジャー、弁護士などが普段着で参加しており、気軽に専門職に相談し、早期の診断・治療や介護保険制度の利用につながっています。毎月第1水曜日の午後は、平均100名前後の参加者で会場は溢れます。



民生委員の関わりは、気になる方のカフェへの誘い出し、お出迎え、お話し相手、見守り等で2時間半はあっという間、民生委員として充実した時間が流れます。

川崎市の子どもから高齢者まですべての住民を対象とした「地域包括ケアシステム」、自ら健康を保つ「自助」の努力と、地域住民がお互いを支え合う「互助」につながる活動、居場所づくりにと楽しく活動しています。

認知症カフェの土橋カフェはテレビでも紹介されるなど注目されており、新しく認知症カフェを立ち上げる際の参考となることも多くあります。

地域に住まう人と人をつなげ、誰もが住みやすい地域を作る活動。素敵です…。

(川崎市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

### 川崎市宮前区第4地区



人口	22,433人
世帯数	9,572世帯
高齢者 (65歳以上)	4,407人 / 19.6%
子ども (15歳未満)	3,200人 / 14.3%
民生委員児童委員	22人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 支え合いの心で 活力ある地域づくり

神保 修治 (民生委員児童委員)  
横浜市鶴見区  
市場地区民生委員児童委員協議会



市場地区は、鶴見川と川崎市に挟まれた場所に位置しており、平坦な土地で徒歩や自転車での移動がしやすく、川崎駅周辺も生活圏となっています。地区内には旧東海道が通り、箱根駅伝の鶴見中継所があることでも知られています。現在、人口は約20,000人。10の自治会町内会で構成され、23人の民生委員児童委員が活躍しています。

市場地区は長年にわたり福祉活動が盛んで、私たち民生委員児童委員はその中心的な役割を担っています。誰もが暮らしやすい地域を目指し、子育て支援、高齢者支援、お祭りやスポーツ大会など幅広く活動を展開しています。特に年間を通じた高齢者向けの「ほがらか教室」は四半世紀にわたり続く看板行事で、認知症予防や体操、バスハイク等、毎回大勢の方が参加されます。

障害のある方への支援も積極的に行っています。障害者やその家族等が高齢になると、外出が難しくなり地域社会との関わりが減る等、それまで以上に生活上の不安や課題が出てきます。地域とのつながりが深まるような関係づくり、身近な相談支援の体制づくりが必要と考え、障害のある方とカラオケ大会や成人式等の行事を通じて交流し、普段から顔の見える関係、信頼関係づくりを大切にしています。



障害のある方と一緒に防災訓練

防災訓練にも参加していただき、知っておくべき配慮について学ぶとともに、一緒に訓練を行うことで、互いに理解し、信頼し合う

関係が生まれています。

その他、災害への備えとして、地域の皆さんと連携した災害時要援護者の見守り活動に取り組んでいます。災害時に頼りになるのは隣近所の助け合いであり、日頃からの地域のつながりが「減災」につながります。特に自力での避難が難しい方にとって、地域の支援は不可欠です。市場地区では、災害時要援護者の名簿を「情報共有方式」(\*)により作成しており、対象となる方の95%が名簿に登録されています。民生委員児童委員に加えて「訪問員」も見守りを行っています。「訪問員」とは、個人情報に関する研修を受け、区から訪問員証を交付された地域の方々に、戸別訪問、地域内での声掛けなどを行っています。訪問員との連携が、地域の支援体制づくりや支援のノウハウの蓄積につながっています。

民生委員児童委員活動は、地域を支える非常にやりがいのあるものですが、ニーズが複雑多様化している今日、私たちが地域の福祉保健の全てを抱える時代は終わったと考えています。先述した「訪問員」のように、民生委員児童委員が中心となってお手伝い役を増やしていく取り組みを着実に継続していくことにより、将来の民生委員児童委員が登場してくれると期待しています。

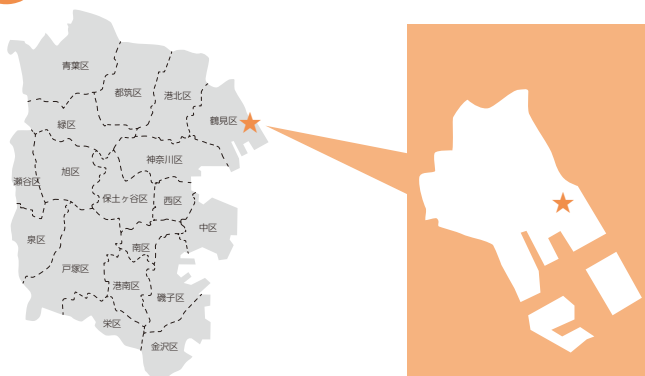
\*行政が対象者に通知し、拒否の意思表示をしなかった人の個人情報、協定を締結した自治会町内会等に提供する

民生委員児童委員は、地域住民の立場に立って活動を行うボランティアです。心配ごとや困りごとと一緒に考え、関係機関につなぐとともに、地域づくりにも取り組んでいます。

(横浜市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

### 横浜市鶴見区市場地区



人口 約21,000人<sup>※1</sup>

世帯数 約10,500世帯

高齢者 (65歳以上) 約4,000人/約19%

子ども (15歳未満) 約3,150人/約15%

民生委員児童委員 21人

主任児童委員 2人

H30.3.31現在

※1 一部の町が他地区と入り混じっているため、おおよその数値を記載しています。

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 歴史と伝統の町 上溝地区の取り組み



永野 堅次 (民生委員児童委員)  
相模原市中央区  
上溝地区民生委員児童委員協議会

### 【地区の特徴】

上溝地区は鳩川・姥川・道保川の三河川が流れ、横山丘陵の中段にあり、明治初期より定期市が開催されていました。また、旧相模原町の町役場も設置されるなど、かつては行政・経済の中心地として栄え、かながわの祭り50選「上溝夏祭り」が開催される歴史と潤いのある地域です。



そんな上溝地区ですが、今回は民生委員の訪問等の基本的な活動と一味違った、お祭りの取り組みをご紹介します。

### 【上溝地区ふくしまつり】

上溝地区の地域住民同士のふれあいを目的とした大きなイベントで、各コーナーの受付も担当し、地域の団体と共にまつりを盛り上げています。

協力団体による野菜・たこ焼き・綿菓子販売や各種体験コーナー（点字・手話・車いす等）、演芸大会などが開催され、地域の皆様に福祉をより身近に感じてほしいという思いで精一杯頑張っています。



### 【レクリエーション大会】

毎年、「上溝地区ふるさとまつり」と「上溝レクリエー

ション大会」が上溝小学校校庭を使って大々的に開かれ、16の自治会・各種団体が参加しています。

民児協はポップコーンの模擬店を出店し、機械操作、袋詰めから販売までを行います。毎年売れ行きは好調で、民生委員もやりがいを感じています。機械からポップコーンが出てくる様子を楽しそうに見ている子どもたちを見ているとこちらも笑顔になってしまいます。

子どもたちが口にしたときの素朴な味は、待った分だけ思い出として残り、この地域に愛着を持って、これからの上溝地区でのびのびと育ててほしいと願っています。



### 【今後の抱負と課題】

超高齢化や少子化など課題は山積していますが、子どもたちの健全育成のために従来の待ちの姿勢から一歩踏み出し、民児協として担うべき役割をどう設定し、いかに実践していくかが大きな課題であり、責務だと考えています。

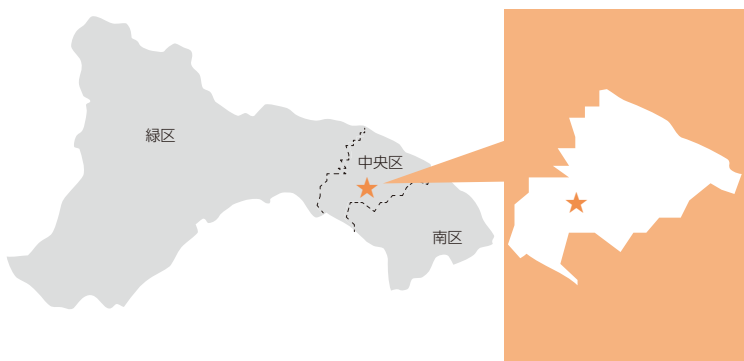
問題を一人で抱え込むことなく、皆が楽しく参加できる民児協運営を、行政や地域の諸団体と連携して進めていきたいと思っています。

上溝地区のお祭り同様、地区の民生委員さんの活動も非常に盛り上がっています。事務局も民生委員さんの地区をつなげる活動を精一杯サポートしていきたいと思っています。

(相模原市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

相模原市中央区上溝地区



人口	33,894人
世帯数	13,401世帯
高齢者 (65歳以上)	8,440人／24.9%
子ども (15歳未満)	4,519人／13.3%
民生委員児童委員	32人
主任児童委員	2人

H30.4現在

# こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 手作りの福祉を

山岸 一男 (民生委員児童委員)  
横須賀市北下浦地区  
民生委員児童委員協議会



横須賀市北下浦地区は、三浦半島のほぼ南、金田湾に面し、東に房総半島、太平洋を臨む風光明媚な場所です。昨年5月に北下浦津久井浜海岸で、ウインドサーフィンの世界大会が開催されたことも記憶に新しいところ です。

地区では約35,000の人口が微減中、35名(女性:男性=2:1)の民生委員児童委員が、「手作りの福祉」を合言葉に活動しています。

横須賀市には独自の「社会福祉推進委員制度」があります。私たち民生委員児童委員と共に、地域のアンテナ役として活動する「社会福祉推進委員」が当地区には現在95名おり、月1回の手芸「いきいきサロン」や「グッパ体操」の広報、見守り等も担っています。「民生委員児童委員の1年生」の私にとっても、大変心強い存在です。

当地区では最近新たな試みとして「歩こう会(いきいきサロン)」を実施していますが、参加の状況はいまひとつです。種々煩悶するそんな時、(福)横須賀基督教社会館会長・阿部志郎氏の著書『なんぞ嘆ぜんやついに事業成るなきを一横須



第1回「歩こう会(いきいきサロン)」  
武山/横須賀市

賀基督教社会館の50年』を読みました。「思いを入れて努力しても報われないことが多い。だからと言って諦めてはいけません。継続こそが大切である」と解し、大変勇気づけられました。

間もなく古稀を迎える私は、現在も仕事を続けており、新任研修を受けた後、無我夢中で取り組み、二足のわらじで1年を迎えました。少子高齢化、定年延長、一億総活躍が叫ばれる中、私と同様に勤めながら民生委員児童委員を担う人が増えるかもしれません。迷惑を掛けながらの活動ですが諸先輩の指導・支え、そして何よりその明るい会風があればやっていけるのではと感じています。

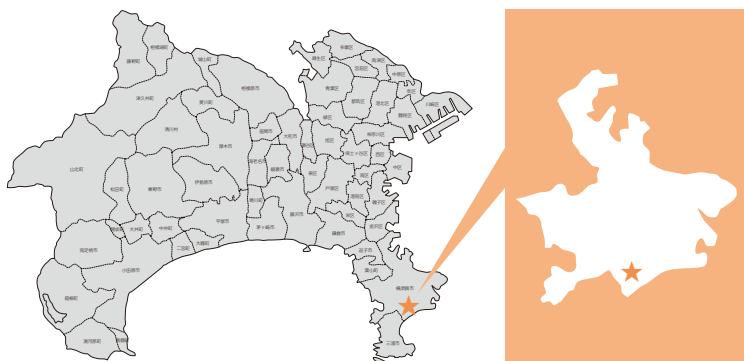
20年前に作詞し、あきらめて完成しなかった自作『僕らの街野比』の歌。この歌の鍵は次の一節です。「…ドラえもんも遊んでる のび太君の住む街野比 伸びやかな心もて僕らの街野比…」孫が今もテレビで「ドラえもん」を見ていることを知りました。地区の仲間やつてを総動員し、子どもたちと一緒に歌える日を実現したいと思っています。

最近では「民生委員児童委員と仕事や他の活動とのバランスをどう取るか」について悩まれている委員の声が聞かれます。求められる役割も大きい委員活動ですが、その中で、少しでも「やって良かった」と感じていただけるよう、事務局としても支援してまいります。

(横須賀市民生委員児童委員協議会)

## 地区の概況

### 横須賀市下北浦地区



人口	34,948人
世帯数	15,440世帯
高齢者 (65歳以上)	9,776人/28.0%
子ども (15歳未満)	4,347人/12.4%
民生委員児童委員	34人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在  
横須賀市作成「住民基本台帳登載人口 地区別年次別年齢3区分別人口割合 年齢構造指標」より

# こんにちは！ 民生委員児童委員です



## 「高齢者のハロウィン」から学んだこと



及川 伸子（民生委員児童委員）  
川崎市多摩区  
生田第2地区民生委員児童委員協議会

私の担当する地区「寺尾台」は、小田急線の読売ランド前駅から徒歩10分ほど、日本女子大学の生田キャンパスに面した緑豊かな閑静な住宅地です。町ができて50年。新興住宅地の特性としてある時期から高齢化が急激に進み、寺尾台も高齢化率30%を超えています。

子どもが少ないこの町で、昨年10月26日、子どもたちと高齢者によるハロウィンのお祭りが行われました。

発案は子ども会の役員で、地域の人たちとハロウィンをしたいと民生委員児童委員に依頼がありました。そこで、衣装した子どもたちが飾り付けをした高齢者宅を回り、お菓子をもらうという企画を考えました。高齢者も当日が近づくにつれ盛り上がり、衣装をして子どもたちを驚かそうという方も出てきたほどです。初めてのイベントは成功裏に終わり、うれしい感想をいただきました。



子ども会の皆さまからの感謝のカード

イベントの成功には2つのポイントがありました。1つ目は「人」の協力です。寺尾台では民生委員児童委員と地域包括支援センターの共催で10年以上「転倒防止体操」を行っています。今回のハロウィン・イベントで中心になってくださったのが体操の参加者でした。また、日頃から民生委員児童委員の活動を支えてくれる、寺尾台自治会の「福祉委員」の協力も得ることができました。

2つ目は「地域」の協力。寺尾台唯一のスーパーマー

ケットである生協では、衣装した子どもたちによる店内パレードや、お菓子の協力もしていただきました。

日頃の声掛けや転倒防止体操などで地域と関わっていたこと、生協とは高齢者の見守りや安否確認でつながっていたことで、すぐに協力体制ができたのだと思います。

ハロウィンは高齢者にも喜ばれる行事であることに気が付きました。子どもにつられて高齢者も衣装を楽しみましたし、子どもにお菓子をあげられる役どころも魅力です。お母さんたちとの交流もほほ笑ましいものでした。

何よりも、高齢者の皆さまが今まで見たことのないくらい生き生きとしていたのが印象的でした。今回、出来上がった行事への招待ではなく、衣装の道具一つとっても、ある方はお嬢様と用意し、ある方は仲間内で考えを巡らせ、アイデアが浮かばない方にはこちらから提案するなど、一人ひとりができる事を考え、探して、参加され、皆さんとても楽しそうでした。

何歳になっても人と関わり、能力をフル活用して楽しむことは喜びです。そのためにも「与える形の高齢者支援」から「一緒に作る参加型の支援」を心掛けねばと、今回の行事を通して学びました。この感覚を忘れぬよう、これからも民生委員児童委員活動に取り組みたいと思います。

川崎市多摩区は、かつては「多摩川梨」の栽培で知られるように農村地帯としての景観を多く残していましたが、都心へのアクセスが良いことから、宅地開発が進み、平成14年には区の人口が20万人を超えました。109,473世帯に対して、8地区民児協234名の民生委員児童委員が活動しています。

（川崎市民生委員児童委員協議会）

## 地区の概況

川崎市多摩区生田第2地区



人口	38,198人
世帯数	18,910世帯
高齢者 (65歳以上)	9,112人／23.9%
子ども (15歳未満)	4,336人／11.4%
民生委員児童委員	32人
主任児童委員	2人

H30.4.1現在

こんにちは!

民生委員児童委員です



誰もが「その人らしい生き方」ができる地域社会の実現へ

桜美林大学  
特任教授 大溝 茂



地域で子どもから高齢者までのすべての世代やさまざまな生活上の問題・課題を抱える人々への、支援・援助の新たな仕組みづくりが展開されています。

誰もが「その人らしい」安定・安心できる生活の実現、「地域共生社会」を目指した取り組みです。

「地域共生社会」の実現に向けた取り組みは、民生委員児童委員活動の新たな役割と展開への期待となっています。民生委員制度創設100年、児童委員制度創設70年の歩みは、激動する社会の中で常にさまざまな問題・課題を抱える地域住民に寄り添ってきた歴史です。

地域住民の立場に立った民生委員児童委員(民児協)が地域に向け発信している活動は、地区社協、地域組織(自治会・町内会)を始め、さまざまな団体・個人の参加と協力・協働のもとで進められてきました。地域への思いや住民の願いを実現化するための事業企画や具体的実施の推進役を担っています。

今日、社会福祉サービスの提供の仕組みが大きく変わろうとしています。人口減少社会が進行する中で、国家財政や産業構造の抱える問題は、従来の公的なサービス提供「垂直型」から地域社会を基盤とした「横断型」の仕組みへとシフト

することを目指しています。

「地域共生社会」の実現とは、地域住民がお互いに



「支え合い・助け合い・分かち合い」の新たな「つながり」を地域の中で構築していく取り組みです。

民生委員児童委員の活動は、地域の人々の生活と抱える問題・課題に寄り添い、改善・解決に向けたさまざまな「つながり」を生み出してきました。「格差と貧困」の中で希望と未来を展望できない子どもをはじめとするすべての世代を「つなぎ」、誰もが「その人らしい生き方」を希求することが可能となることを目指しています。

民生委員児童委員(民児協)活動が、個別的支援を基本として、他機関・団体との協働・連携を深化させ、地域のすべての住民・団体を包含する活動へと発展することが期待されます。

本紙で紹介された地区民児協の活動は、子どもから高齢者まであらゆる人々が「共に支え合い・共に生きる」ことの具体的実践です。地域の全ての人々がさまざまな問題・課題を「我が事」として「丸ごと」受け止め、つながることへの始動です。

「人」は「人」への関わりをとおして「人間」として成長・成熟していきます。「人に関わる」さまざまな機会と出会うのが民生委員児童委員です。地域は「人材(財)の宝庫」です。さまざまな社会経験、知識、技術(技能)、そして豊かな人間としての成熟性を活かした地域づくりを考えていきましょう。

民生委員児童委員は、人材を地域で活かす担い手でもあります。多くの地域の人々が、民生委員児童委員としての活動の機会に出会えることを願っています。



こんにちは！ 民生委員児童委員です

平成30年7月発行

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

民生委員児童委員部会

